



ともに学ぶ。考える。

インターネット安全教室

～大人もこどもも一緒に学び、考える。インターネットとのつきあい方～





安全教室指導用教材利用規約

独立行政法人情報処理推進機構
セキュリティセンター

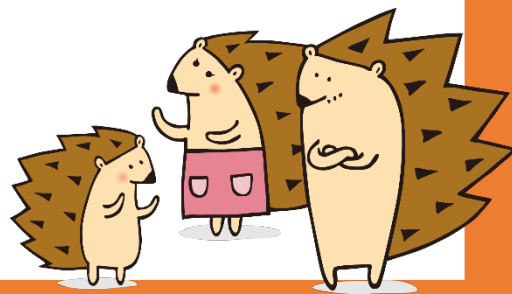
「安全教室指導用教材」は、インターネット安全教室での利用を目的に独立行政法人情報処理推進機構（IPA）（以下「IPA」という。）が作成した教材、およびこれを用いて指導するためのポイントをまとめた講義要領（今後に作成され得る各々の改訂版を含む。）です。なお、改訂版が利用可能となった後は、専ら改訂版をご利用ください。

IPAは、本利用規約に同意いただくことを条件として、「安全教室指導用教材」の利用を無償で許諾します。有償セミナー等での利用を希望する場合は、事前に IPA に申し出て別途許諾を得てください。

1. 「安全教室指導用教材」に関する著作権その他すべての権利は独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が保有しており、国際条約、著作権法その他の法律により保護されています。
2. 「安全教室指導用教材」は、情報セキュリティや情報モラルの教育、普及の目的に限り、無償の授業、各種セミナーや研修等にご利用いただけます。
3. 必要な範囲での複製（生徒等受講者への配布のための複製を含む。）は可能とします。
4. 「安全教室指導用教材」は原文のまま利用してください。ただし、グラフの形式を変える、文体を変える等、単なる表記形式のみの変更は可能とし、また、具体的な利用場面においてやむを得ない場合であって、かつ前記目的のために必要な場合には、その必要な範囲で、利用者の責任において、文意を変えず、かつ原文のままでないことが容易にわかるように明記または明示（例「～を基に作成」等）することを条件として、文面の一部改変等を可能とします。
5. 「安全教室指導用教材」の中のデータやグラフ・図表・イラスト・映像等の全部または一部を引用等した場合、本利用規約に同意したものとみなします。
6. いかなる形で利用する場合においても「安全教室指導用教材」を利用する際は、出典（IPAの名称、資料名（「安全教室指導用教材」）、URL等）を容易に判る態様で明記または明示してください。
7. 「安全教室指導用教材」を利用する部分と利用者が自ら作成する部分が混在した教材等を作成する場合、「安全教室指導用教材」利用部分か、利用者自身による作成部分かが容易かつ明確に判別できるようにしてください。なお、利用者は、自己の作成部分について全ての責任を負うものとします。
8. 「安全教室指導用教材」（本項においては、利用者が自ら作成する部分が混在する場合を含む）の二次利用を希望する者に対して複製物を配布する場合には、相手先に本利用規約を配布するなどにより、相手先が「安全教室指導用教材」（利用者が自ら新たに作成した部分を除く）を利用する際には本利用規約に同意する必要があることを伝えてください。
9. 「安全教室指導用教材」で提供する情報の正確性、信頼性、網羅性及び完全性については、IPAが保証するものではありません。
10. 「安全教室指導用教材」のファイルをダウンロードすることまたは利用したこと等により生じるいかなる損害（他人に対して責任を負う場合を含む。）についてもIPAは何ら責任を負いません。
11. 本利用規約は予告なく改正する場合があります。その場合、改正後の内容は、それがIPAのウェブページ上で公表された時以降の利用に適用するものとします。
12. 「安全教室指導用教材」及び本利用規約に関する質問は、net-anzen@ipa.go.jpまでお寄せください。なお、IPAからの応答等は、その業務に支障のない範囲内とさせていただきます。

知っておきたい 情報セキュリティ 【13】

「そのメッセージ、信じて大丈夫？」
偽警告、フィッシングメールの手口
とその対策を知ろう



動画を見てみましょう。





動画を見てみましょう。

以下の動画を流してください。
その警告メッセージ、信じて大丈夫？
ブラウザの“偽警告”にご用心！

URL:

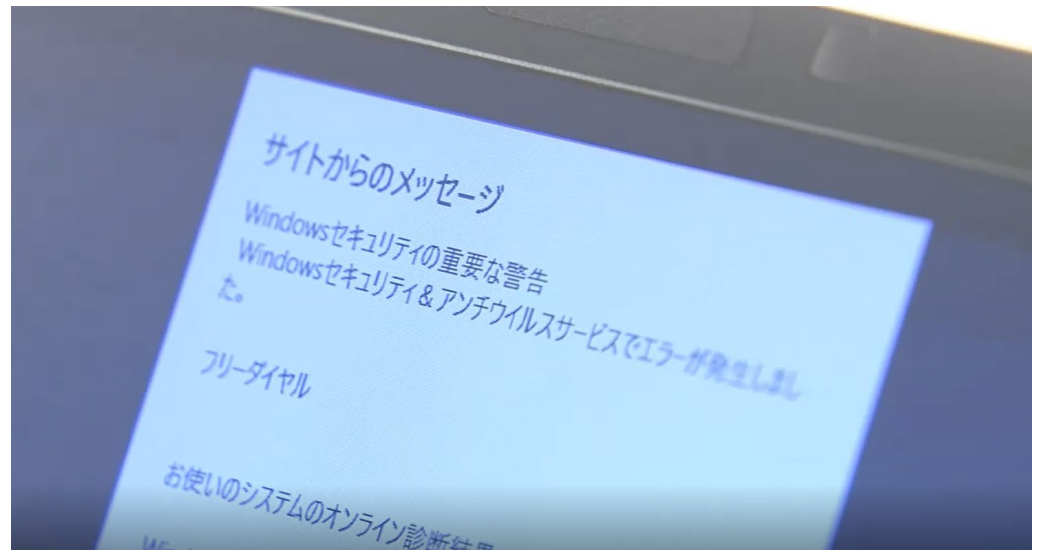
<https://www.youtube.com/watch?v=sm1UMc97zRc>

【00分00秒から02分32秒まで】



知ってましたか？

ブラウザ上の 偽警告



安全教室指導用教材
ver.2.3_20230428
©2023 IPA

(画像引用) IPA「その警告メッセージ、信じて大丈夫？ ブラウザの“偽警告”にご用心！」
<https://www.youtube.com/watch?v=sm1UMc97zRc>

偽警告の特徴



不安をあおる内容

ウイルス感染？

情報漏洩？



突然表示される警告画面



図4：ロゴの無断使用例

偽警告の特徴



電話をかけて
確認するよう誘導。

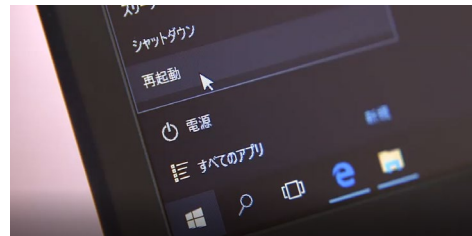
遠隔操作
サポート契約





対処法を考えよう！

- ① 表示された連絡先に電話
- ② パソコンを再起動する
- ③ パソコンを捨ててしまう





答えをみてみましょう

以下の動画を流してください。
その警告メッセージ、信じて大丈夫？
ブラウザの“偽警告”にご用心！

URL:

<https://www.youtube.com/watch?v=sm1UMc97zRc>

【03分57秒から06分16秒まで】

これだけは覚えましょう



落ち着いて
ブラウザを閉じる。





従ってしまった場合には？

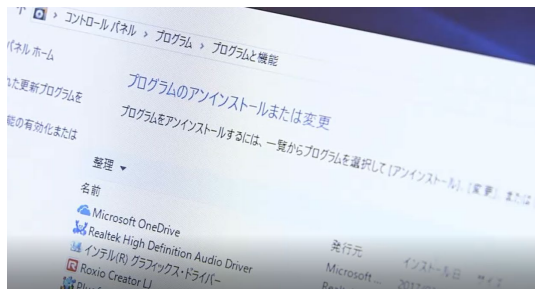
- 電話をかけてしまった。
- 遠隔ソフトをインストールしてしまったらしい。
- サポート契約を結んでしまった。



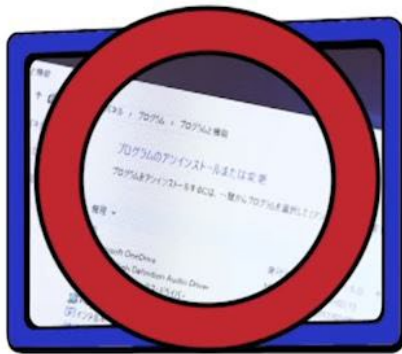
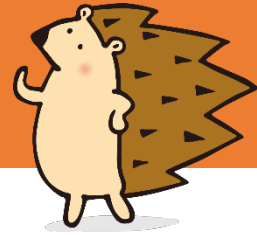


対処法を考えよう！

- ① ソフトのアンインストール
- ② 消費生活センターに相談
- ③ クレジットカード会社に相談



①②③のすべて！



①ソフトのアンインストール



②消費生活センターに相談



③クレジットカード会社に相談

IPA



安全教室指導用教材

ver.2.3_20230428

©2023 IPA

(画像引用) IPA「その警告メッセージ、信じて大丈夫？ ブラウザの“偽警告”にご用心！」

<https://www.youtube.com/watch?v=sm1UMc97zRc>

遠隔操作ソフトって？



別名 リモートコントロールソフト

遠隔操作ソフトとは？

IPA



リモートサポートのほか、立ち入れない場所の
システム管理などに活用されている

被害にあわないために



- ① 偽の警告画面を見極める
- ② 普段利用しているセキュリティソフトからの警告ではない場合、偽警告の可能性が高い
- ③ 安易にソフトのダウンロード、インストールはしない
- ④ 電話をかけない



Android端末



「警告! ○○○がウイルスに感染しているので、早急の対応が必要です。○○○を修復するために、続行して指示に従ってください。このウィンドウは閉じないでください。**閉じる場合、責任は自己負担となります**」

iPhone



「あなたのiPhoneは、重度（6）の
ウイルスによって破損しています！」

IPA

安全教室指導用教材
ver.2.3_20230428
©2023 IPA

(画像引用) IPA「安心相談窓口だより」

<https://www.ipa.go.jp/security/anshin/attention/2019/mgdayori20190918.html> (公開 2019年9月18日)



あなたのiPhoneは、重度のウイルスによって破損しています！

今すぐ、**無料のアプリ**をインストールして、**ウイルスを削除**してください！

ウイルスを削除

偽の警告画面の指示に従って
アプリをインストールし、
よく確認せずに**契約登録**をしてしまうと…



**利用料金が
請求されるケースも！**

無料ではなかったの!?

図1：偽の警告から有料アプリへ誘導される手口

対処法は同じです



落ち着いて
ブラウザを閉じる。

閲覧履歴も削除！





動画をみてみよう

以下の動画を流してください。
その警告メッセージ、信じて大丈夫？
ブラウザの“偽警告”にご用心！

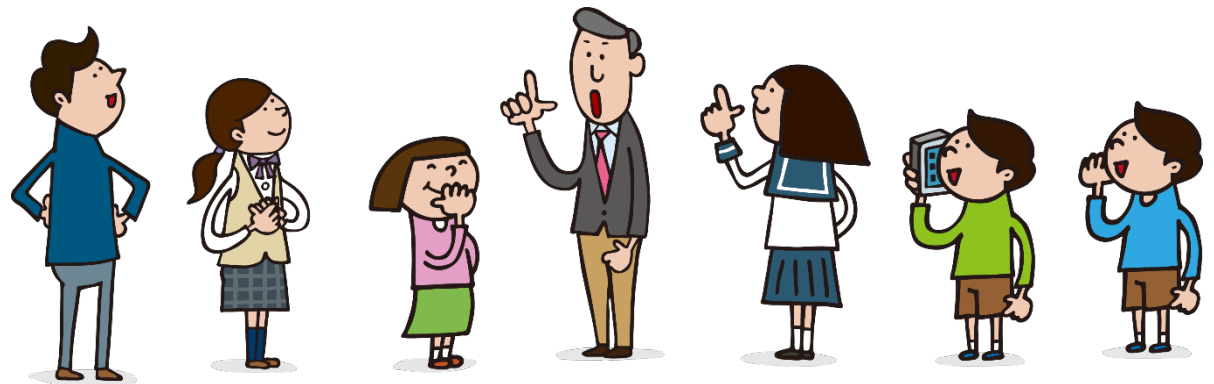
URL:

<https://www.youtube.com/watch?v=sm1UMc97zRc>

【09分45秒から10分38秒まで】

まとめ

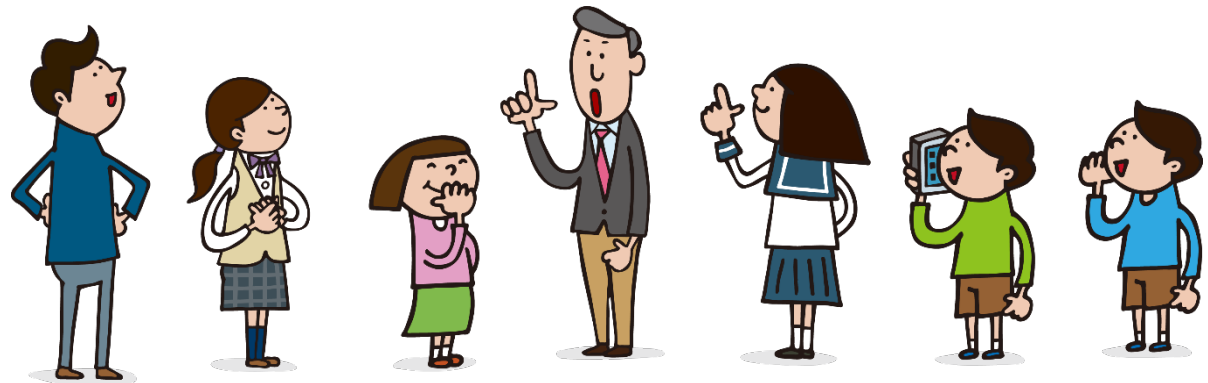
パソコン、スマートフォン
セキュリティの警告画面がでたら
本物かどうか確認しましょう。



まとめ

安易にソフトのダウンロード、インストールはしない。

アプリの開発元、機能説明、利用料金、利用規約などを確認する習慣をつけよう。



被害にあったら

- アプリのアンインストール
- 消費者相談窓口への相談
- クレジットカードなどの情報が流出する可能性があるので、クレジットカード会社にも連絡

